



新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様には、健やかに2026年の新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

旧年中は建築士会事業に積極的にご協力をいただき厚くお礼を申し上げます。本年も引き続きよろしくお願ひいたします。

昨年11月26日に発生した香港のマンション火災は衝撃的でした。建築物の防火・避難基準の大切さを痛感させられる痛ましい事故でした。建物の設計や工事に携わっているものとして、安全基準についてもう一度考えさせられました。被災された方々に心からお悔やみとお見舞いを申し上げます。この火災で犠牲となられた方々のご冥福を祈り、被災された皆さまに一日も早く平穏が戻ることを願っています。

昨年の活動を振り返ってみると、5月31日に令和7年度山口県建築士会定時総会を宇部市で開催しました。総会は懇親会なども盛り上がり、何よりも古松支部長を始めとする宇部支部の皆さんに感謝を申し上げたいと思います。また、山口県建築士会の発展と社会公共の福祉増進に多大な貢献をされた功績をたたえ17名の方が表彰されました。本会を支え発展させてこられたことに対し改めて感謝申し上げますとともに、これからもお力添えをいただけますようお願ひいたします。

2月には青年部主催でやまぐち建築セミナーが下松市で開催され、大西麻貴氏の講演会に会員だけでなく多くの学生や若い人たちが参加していました。

そのほか、ボーリング大会やゴルフ大会も開催しました。開催に当たっていただいた下松支部の皆様、宇部支部の皆様、お世話になりました。これからも会員が楽しめる場が増えたらと思います。

全国大会は9月に大阪府で開催され、山口県から45名の方が参加されました。

大会式典では、令和7年度の連合会長表彰の表彰式があり、山口県からは、岩国支部の菊重徹さん、山口支部の荒瀬秀治さん、長門支部の山根満広さんが、建築士制度の発展と社会公共の福祉増進に多大な貢献をされた功績を表彰されました。心よりお祝い申し上げますとともに、本会はもとより、建築業界を支え、発展させてこられたことに対し改めて感謝申し上げます。今年の全国大会

は10月16日に群馬県で開催されます。

昨年10月2日に行われた「支部長・理事・支部担当者会議」について、触れておきたいと思います。（「山口建築士」11月号に報告が載っています。）

主な議題の一つが「経営の健全化」についてです。

平成28年度に会費を3千円引き上げその後数年間は収支が好転しましたが、会員数や事業収益の減少によりコロナ禍の終息後再度赤字になっている状況があります。今後も会員数の減少が続き赤字額が拡大することが予想されることから、今年の定時総会において令和9年度から3千円の会費値上げを提案させていただくことになりました。諸物価高騰の折申し訳ないのですが、将来の経営破綻を回避するための苦渋の決断でありご審議をいただきたいと考えます。なお、会員名簿の電子化や会報誌「山口建築士」の隔月発行などの経費削減については令和7年度より実施しています。

山口県建築士会の存続のためにはもう一つ、少しでも新規会員数の増加を図ることが求められています。

少し遅れましたが「やまぐちけんちく塾」がスタートしました。昨年塾生を募集したところ、7名の方が応募してくれました。9月5日に「入塾式」を行いましたが、初めての塾生に応募してくれた若い人は、やはり意欲にあふれ建築士会の活動に参加することに期待を持っているようでした。センターのうち参加できる方や青年部、女性部の役員の方にも参加してもらい、みんなで自己紹介をするなど和気あいあいとした雰囲気の良い集まりになりました。これから若い人が活動に参加した時など、先輩の会員が声をかけるなどのサポートをしていただけたらと思います。

「学生会員制度」も11月に発足しました。山口大学と徳山高専の建築を学んでいる学生が対象です。これから行事に学生会員として参加することがあると思います。学生であるためすぐに正会員が増えるということはないのですが、将来的な会員増強や建築業界に若い人を誘うという意味で意義があればと思います。青年部、女性部や支部活動の活性化のために学生会員との交流を活かしてもらえることを期待しています。

新しい年が始まりました。

今年は5月30日に光市で県総会を開催します。光支部の皆様、よろしくお願ひします。

今年も会員の皆様と一緒に建築士会活動を楽しめたらと願っています。

本年が会員の皆様にとりまして幸多き年になりますよう心からお祈り申し上げます。

青年部長 神田周二



新年あけましておめでとうございます。旧年中は皆様から青年部の活動にご理解、ご協力を賜りましたこと厚く御礼申し上げます。

昨年においては、私自身、青年部長の役目を引き受けて、初年度の活動となりまして、慣れない事や分からぬ事が多く、皆様にもご迷惑をお掛けすることも多かったかと思います。ただ、やりたいと思った事を取りあえずやってみる！楽しむ！を心掛けて参りました。10月には山口県主催の中四国ブロック若手建築志（士）交流会を下関で開催しました。中四国の各県から多数のご参加をいただき、70名を超える参加者となりました。青年部役員、実行委員をはじめ多くの関係者の皆様にご協力頂きまして、無事に大成功のイベントになったと実感しております。今後は山口県内の活動に限らず、中四国ブロック、全国の建築士会との関係性を密にし、幅広い活動を展開することが魅力ある建築士会に繋がると考えております。また、一方で恒例イベントも充実させ、バージョンアップさせることが重要と考えております。今年の2月に開催予定の建築セミナーにおいても1つでも新しい取組みを盛り込んでいきたいと考えており、準備に励んでいます。

建築士会の活動を通して、地域の方々や将来を担う若い学生、子供たちとの繋がりも昨年同様に充実していきたいと考えております。昨年開催された宇部市の楠こもれびの郷での「もくもくフェスタ」、山口市宮野小学校での景観学習なども地域の方々との繋がりの重要な機会であると思っておりますので、継続して青年部として積極的に関わって参りたいと考えております。青年部の活動に参加いただくことで建築士の魅力、建築士会への興味に繋がるよう、今後も前向きに取り組んで参りたいと思っております。

最後になりますが、会員の皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、新年の挨拶とさせて頂きます。

女性部長 柴田昭子



新年あけましておめでとうございます。旧年中は皆様から女性部の活動にご理解、ご協力を賜りましたことに、心よりお礼申し上げます。今年度から女性部長となりました

が、初めて経験する事が多く、皆様のお力を借りしながら一歩ずつ進んでいます。

昨年を振り返ってみると、さまざまな学びと出会いに恵まれた一年でした。6月には岡山県で開催された中四国ブロック大会に参加し、女性部のあゆみ「かわら版」を発表する機会を頂いたのと同時に、かわら版を未来へつなげていく為に「Instagramかわら版」をスタートさせました。7月には山形県での全国女性建築士連絡協議会へ山口県からも5名参加、9月には大阪での建築士会全国大会にも参加し、全国の仲間の皆さんと交流する中で、建築士としての視野を広げる貴重な機会となりました。

県内の活動としては、11月には地域の小学生と保護者を対象に、「親子で楽しく学ぶ♪防災バラコードワークショップ」を開催いたしました。カラフルな紐を編みながら防災を学ぶ時間は笑顔にあふれ、私たち自身も大変楽しいひとときとなりました。地域とつながる活動の大切さを改めて感じる機会となりました。

他にも、今年度は、昨年ご好評いただいた「庭づくり勉強会」の第2弾を2月に予定しています。また、研修会や交流会など暮らしをより快適に、豊かにするための学びを、楽しく共有できる場を企画したいと考えております。まだ参加した事がないという方も、ぜひ参加してみてください！役員一同、心よりお待ちしております！ 女性部の活動は、建築を通して人と人、地域をつなぐ小さな輪の積み重ねです。その輪を少しずつ広げながら、一緒に活動してくださる仲間が増えていけば、これほど心強いことはありません。どうぞ気軽にお声かけいただければ嬉しく思います。

最後に、本年も女性部の活動にご指導、ご協力のほどをお願い申し上げますと共に皆様のご健勝とご多幸をお祈りいたします。